

【第2報（最終）】飛騨清見雪氷基地大型車庫シャッター破損事象

- 【発生日時】 2024年1月5日（金） 9：20 頃 ※推定時刻
【発生場所】 E41東海北陸自動車道 飛騨清見IC 雪氷基地
【工事件名】 2023年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務
【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
【概要】 雪氷作業ウレタン運搬作業中、車庫内の標識車を出庫させようとした際にシャッターが上がり切っておらずシャッターに標識車を追突させたもの。シャッターは他の人が車庫内の確認をするために開けていたもので、運転手はシャッターが上がり切っているかを確認していなかった
【被害状況】 人的損害 なし
物的損害 シャッターの破損
【第三者被害】 なし
【マスコミ報道】 なし

【時系列】

- 1/5 8：30 朝礼
9：00 清見基地でウレタンで使用するフォークリフトを確認（標識車運転手とは別の人）
9：20 事故発生 標識車運転手より現場代理人へ一報
9：30 現地確認し、HSCに報告
9：40 メンテ本社に報告
16：30 緊急安全大会実施

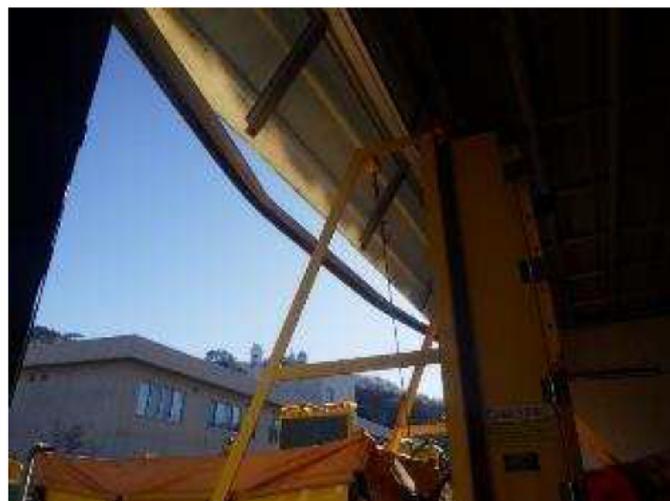
- 【原因】 シャッター損傷
・シャッターは他の人が車庫内の確認をするために開けていたもので、運転手はシャッターが上がり切っているかを確認していなかった（思い込み・確認不足）
・責任者が自ら標識車を移動させてしまった。
自分が移動させたほうが早いだろという考えだった。（能率本能）

- 【対策】 シャッター損傷
・シャッター開ける(閉める)際は、最後まで上がり(下がり)きった状態にする。
・運転する前に運転手自身がシャッターが確実に上がりきっている事を目視で確認する。
・責任者は自ら作業をすることは控え、現場の安全確認や作業の役割分担を行う事を周知徹底する。

位置図



破損したシャッター状況



緊急安全大会実施状況

